

令和7年度一般選抜入試

『簿記』出題意図

高等学校における「簿記」の取引の記録と財務諸表の作成を企業会計に関する法規と基準を適用して適正に行うための理論的および実務に即した知識と技術について、株式会社会計ほかの教科書の発展的内容を含め理解、運用する能力を問うている。

- 【Ⅰ】は、1つの取引を借方と貸方の2面で捉える複式簿記の基本原則について、取引要素の結合関係とその具体的な取引の理解を問うものである。
- 【Ⅱ】は、取引の記帳のうち商品売買について、商品の仕入れと売上げなど商品売買に関する取引の記帳の理解、運用する能力を問うものである。
- 【Ⅲ】は、決算手続きについて、精算表の作成を通して、商業簿記における基本的な決算整理事項の仕訳と金額計算、8桁精算表の構造の理解を問うものである。
- 【Ⅳ】は、株式会社会計について、株式会社の設立と開業、増資に関する株式発行、費用計上の記帳の理解、運用する能力を問うものである。